


MORIOKA
 ROTARY CLUB WEEKLY

第26回例会(1月31日)
 令和2年2月7日発行

クラブ事務所	岩手県盛岡市菜園1丁目10 川徳デパート内	会 長	西島光茂
例 会 場	同上 TEL 019 (651) 1111(代)	幹 事	勝 雅行
例 会 日	毎週金曜日12時30分～	会 報	金沢 滋
http://www.morioka-rc.jp/		クラブ事務局	TEL 019 (653) 5682 FAX 019 (653) 5622

 RI会長テーマ ROTARY CONNECTS THE WORLD:ロータリーは世界をつなぐ...マーク・ダニエル・マローニー
 盛岡RC会長テーマ 一令和元年:世の為、人の為、奉仕を続け、輪を繋ぎましょうー西島光茂


ゲスト卓話

技術から考える変革の時期

TY特許商標事務所 弁理士

高橋 雪文 様

●スピーカー紹介●

1971年生まれ・盛岡市出身
 明治大学農学部卒。東日本ハウス株式会社(現 日本ハウスHD(株)) 創業者秘書、盛岡市議会議員(1期)、岩手県議会議員(2期)を経て、社会福祉法人土淵朗親会理事(現職)。2016年、弁理士資格取得。2018年、特別養護老人ホーム副施設長(現職)、TY特許商標事務所(岩手県盛岡市)弁理士(現職)。2019年、岩手県知財総合支援窓口 知財専門家(現職)。この間、盛岡みなみ倫理法人会会長、岩手県倫理法人会副会長、盛岡青年会議所 副理事長など歴任。

1. 弁理士の道を選んで

私は、40歳になってから、新しい職種として「弁理士」を選択しました。

義父が渋谷で特許事務所を長年やっていたこともあり、これまで自分が話してきたことを考えれば「日本は他国と違って、資源がない国であり、人材育成が重要。人材を活かすものとして技術の進歩がある。弁理士業務は、特許や商標などの知財を扱うが、日本の最先端の技術を活かす仕事。だから、日本の技術がどうなっているか、最も良く学べる職業」と、思ったからです。

弁理士という仕事を通じて感じたことが3つあります。①技術は継続して「技術に技術を重ねる努力」をしなければならないこと。②「技術はまねをしやすい」こと。③技術は「課題が明確であれば、他の改善方法が見つかる」と言うことです。

技術のまねは、かつて日本でも経済成長の大きな武器になりました。現在は、中国が技術を急激に模倣して力をつけています。数年前まで、「中国製品は粗悪」と言われてきましたが、今や日本製品と変わらないレベル、いやむしろ日本よりも優れた分野もあり、急激に経済成長をしていると肌で感じました。

2. ものづくりから生活スタイルの提案へ

日本は、明治維新から約40年周期で「成功と失敗」を繰り返しています。現在の日本はバブル崩壊の後、失敗のベクトルへ進んでいると考えています。企業の時価総額の世界ランキングの推移とGDPの推移とをみれば歴然としています。バブ

ル崩壊前の時価総額ランキング50位以内に、日本の企業はたくさんいました。しかし、現在はトヨタのみ。あとはほとんどがアメリカ企業です。そうなった理由の一つは、いまだに日本の技術は世界トップクラスですが、技術だけでは企業は勝てない時代になったのです。日本はものづくりで最優秀国にはなりましたが、ビジネスのルールが変わり、多少技術で劣っても、生活スタイルを変える新たな提案(イノベーション)をしながら、ビジネスモデルを作り上げ、お金を集める方法が生まれ出されました。代表格が、インテルやアップル、グーグルです。

いま、スマホを使用している人がほとんどです。スマホにはアメリカのアップルやグーグルが入りこみ、アプリ等を提供しています。アプリは日本で開発されたものもあるかもしれませんが、多くはアメリカのアップルやグーグルにお金が入るシステムになっています。そこに気づいている人は少ないのではないのでしょうか。

そして、中国が急速な成長を果たし、アメリカさえも凌駕しようとしていることがわかります。先日のNHKの放送で中国企業のファーウェイに関する番組がありました。次世代の通信として5Gの中継施設などの機器で、ファーウェイが世界シェアを独占しそうな勢いだと報じていました。また、その番組では、中国の深圳をそのままスマートシティにしている様子が報道されていました。その深圳に、各国の5Gを推進する国や企業の要

人を招き、成果を上げているというものです。

私は、中国の政治体制のもとで「産業」がうまく機能している姿を現実に理解しました。日本は「民主主義、基本的人権の尊重」を推進する自由国家です。この国では、例えば道路を通すにも、住民の合意形成が必要で、どうしても時間がかかります。一方中国では、あっという間に道路が建設されます。深圳のスマートシティの現実は、まさに中国の改革のスピードに驚かされるとともに、次世代産業の先端を国家単位で達成していることが分かりました。日本は、中国にさえ、大きく差を広げられたと思います。

3. 本質は変わる

日本の思想に、松尾芭蕉の「不易流行」という言葉が残されています。変えてはならないもの、変えていかなければならないもの、その絡み合った二重螺旋状にある。と、いうものです。しかし、不易も自然の移り変わりのように、本質は変わることにあると俳諧では言われています。変わっていくことが本質です。

世界が大きく変わろうとしている今、私たちも変化していかなければならないと思います。アメリカ的に変化させるのか、中国的に変化させるのか。それとも日本を基軸に変化をさせていくのか。変革は、一人の思いでは達成できません。ここにお集まりの、盛岡を支え発展させてきた皆さんと、知恵を絞りながら、変革を成し遂げていければと思っています。

弁理士として、知財を通じて皆様方の力になりたいと考えていますが、ぜひ気軽に声をかけていただきたいと思います。ありがとうございました。

【弁理士とは】 国家資格であり、特許や商標、意匠、著作権等を取り扱う専門職です。知財とは、人の想像力から創造された「もの」を、ビジネスに活かし保護するものです。ビジネスを有利に展開させるため大手企業が利用する武器（法的権利）で、中小企業の成長にも役立てたいと思っています。（本人談）

例会報告

第26回例会
令和2年1月31日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 西島光茂会長
- ・ロータリーソング
(手に手つないで)
- ・ビジター 南部利文会友
- ・ゲスト 高橋雪文様 (弁理士)
- ・会長報告 西島光茂会長
- ・入会祝 佐藤重昭・藤田治彦君
- ・幹事報告 勝 雅行幹事
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆福井誠司君…高橋雪文さん、示唆に富んだ卓話ありがとうございました。日々現場に立っている上でのお話は地に足がついている雰囲気伝わります。議員時代よりも熱さ、そして厚さを感じさせてくれました。これからも様々な可能性にチャレンジされる事を期待します。
- ◆金沢 滋君…一緒にJC活動をした雪文君を卓話にむかえることができ、そして東京でも以前聞くことができたふる里への篤い思いを聞くことができてニコニコしています。
- ◆駒木 進君…高校の野球部の後輩でもある高橋雪文さん。本日の素

晴らしい卓話、本当にありがとうございました。当、盛岡ロータリークラブへの入会を心から期待しております。

- ◆飯塚 肇君…大坂なおみは、全豪オープン三回戦で15歳のガウフにストレートで負けました。わずか1時間7分でした。ディフェンディングチャンピオンは、最初からチャレンジャーの目力に負けていました。ガウフの学校の先生は、状況が状況だからと宿題の提出の遅れを許してくれているそうです。その先生にニコニコします。

- メイクアップ
盛岡北RC=福田・勝部君
盛岡西RC=海野君
クラブ委員会=藤村(文)君

出席報告

会員数/77名

出席数/49名

出席率/66.22%

前々回/67.57%



プログラムのお知らせ

- ・ 2月7日(金) 新入会員卓話 安川慎治会員「未来を変えていく健康増進保険」
- 14日(金) 第3回クラブアッセンブリー
- 21日(金) 創立記念例会
- 28日(金) 新入会員卓話 近藤一英会員
- ・ 3月6日(金) 卓話
- 13日(金) 卓話

●本号編集担当/佐藤 仁志